テラコッテム
TERRACOTTEM

◀開発者のウィリアム・バン・コッテム博士と、良く伸びた芝生の根。

保証肥料成分(%)	
窒素全量	5.0
内アンモニア性窒素	2.5
硝酸性窒素	0.5
水溶性りん酸	1.0
水溶性加里	3.0
く溶性苦土	0.20
く溶性マンガン	0.010
水溶性ほう素	0.002

4大成分

成長促進剤

- 成長ホルモンは含まれていませんが、根から吸収されると植物ホルモンに変化します。
- 植物の根の伸びを促進し、葉の成長やバイオマスを増大させます。

肥料

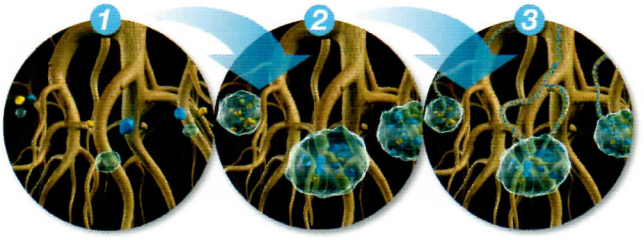
- 有機質肥料:製品の中の青い粒子。土壌中の微生物の活動を刺激し、土壌改良効果を高めます。
- 緩効性無機質肥料:製品の中の茶色く丸い粒子。施用後2～3週間後に溶出し始め、数ヶ月間にわたって肥効が持続します。
- 水溶性無機質肥料十微量要素:製品の中の茶色く少し角ばった粒子。高吸水性樹脂に吸収されて、成長の初期段階で使用されます。

キャリア

- 旧タイプは二酸化珪素、新タイプは溶岩の粒から形成されています。
- 成長促進剤などの微細な成分と結合し、均一に散布できるように加えられたものです。

高吸水性樹脂

- いくつものポリマーをテストして、植物の栽培に最も適したものを数種類選び出し、それらを混合しています。
- 自重の約50～100倍の水分を吸収し、水分に含まれる肥料分も吸収、保持することができます。また、何度でも乾燥←→吸湿を繰り返すことが出来、耐用年数は実績で、約8年～10年という優れた安定性を示します。
- 植物の根が伸びてポリマーに絡む際、ポリマーが水分を保持する力より、植物の根が水分を保持する力の方が強いため、植物はポリマーから水分を吸収することができます。
- 生理障害を起こすことはありません。



1. テラコッテムは根に働きかけます。
2. ポリマーが吸水し肥料分を蓄えます。
3. 成長促進剤により根毛が発達しポリマーから吸収します。

■使用に適した植物や場所

芝生
ゴルフ場・サッカー場・公園

カシマサッカースタジアム

ジャパンフローラ2000

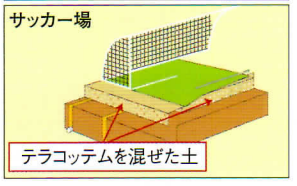
草花
花壇・プランター・ハンギングバスケット

樹木
公園・街路樹・中央分離帯

駅前ロータリー

国土交通省屋上緑化

屋上緑化など
人工地盤の植栽には最適です。



■使用方法

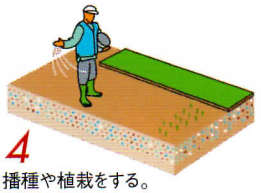
ポイントは、正しい使用量と施工です。標準施工の場合、ムラなく土とよく混ぜて下さい。使用量は表の通りです。また、マルティングをすると効果的です。

●芝生・花壇など(平面的施用)の場合

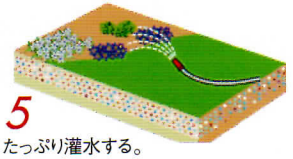
1 均一に散布する。

2 必要な深さに耕転する。基準は100g/m²で深さ20cm。

3 平らにならし、植栽の準備をする。



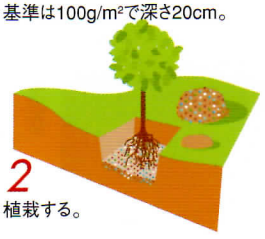
4 播種や植栽をする。



5 たっぷり灌水する。

●樹木などの場合

1 土にテラコッテムを良く混ぜる。マルチ土を準備する。



2 植栽する。

3 埋め戻す。

4 表面をマルチ土で覆う。

5 たっぷり灌水する。

■基本的な使用量

土のタイプ	平面的に施用する場合	樹木・鉢物などの場合	
砂　土	100～200g/m²	1.5kg/m³	1.5g/リットル
壌　土	90～125g/m²	1.0kg/m³	1.0g/リットル
粘　土	75～ 90g/m²	0.5kg/m³	0.5g/リットル
鉢　物	—	3～5kg/m³	3～5g/リットル

※基本的な数値で、植物の種類、気象などの諸条件により変わります。

※注意事項　1.テラコッテムを土壌と混合するときは乾いた状態で行って下さい。
2.ポリマーは充分吸水するのに時間がかかります。灌水は数回に分けるなど時間をかけてたっぷり行い、ポリマーに充分吸水させて下さい。